

## 第 31 回歴史地震研究会（名古屋大会）のお知らせ（第 3 報）

歴史地震研究会では、9 月 20 日(土)から 22 日(月)の 3 日間にわたって、名古屋大学東山キャンパスにおいて、第 31 回歴史地震研究会（名古屋大会）を開催いたします。研究発表会のほか、21 日午後には名古屋大学減災連携研究センターと共催で公開講演会「東海地域の地震と防災について考える－風化させない震災の記憶」を開催します。また、22 日には地域に残る昭和東南海地震や三河地震の記憶を巡る現地見学会を行います。研究発表会・シンポジウム・懇親会・見学会への参加お申し込み、予稿集原稿の締め切りは 7 月 31 日(木)です。詳しくは末尾をご参照ください。

### 1. 場所

名古屋大学東山キャンパス（名古屋市営地下鉄名城線「名古屋大学」駅下車徒歩 5 分）

研究発表会：減災連携研究センター減災館減災ホール

ポスターセッション：減災連携研究センター減災館減災ギャラリー

公開講演会：IB 電子情報館 2 階大講義室

### 2. プログラム

9 月 20 日(土) 研究発表会・ポスターセッション・懇親会

受付開始：9:00～

参加費：歴史地震研究会会員 1,000 円，非会員 2,000 円，学生無料  
（研究発表会・予稿集代）

**【研究発表会】会場：名古屋大学減災館減災ホール**

I 中部の地震と津波（9:30 - 11:00）座長：金田平太郎

1. 平川一臣

志摩半島の完新世古津波堆積物

2. 羽鳥徳太郎

1586 年天正地震の震源域と津波

3. 河内一男

糸魚川－静岡構造線と信州大町地震の断層運動

4. 木股文昭・松多信尚

1944 年東南海地震の被害再検討 (1) 戦禍がもたらした震災

5. 武村雅之・虎谷健司

1944 年 12 月 7 日東南海地震の震度分布と被害の特徴－飯田汲事データの検証と現地調査

6. 中井春香・武村雅之

1945年1月13日三河地震の震度分布と被害の特徴－死者数が多い要因について

休憩（11:00 - 11:10）

II 東北の地震，津波，噴火（11:10 - 12:10）座長：石辺岳男

7. 安田容子

歴史資料にみる宮城県沿岸地域における2つの延宝五年（1677）津波

8. 蝦名裕一・今井健太郎・首藤伸夫

山奈宗真『岩手県沿岸大海嘯取調書』に記される近代以前の歴史津波痕跡について

9. 石村大輔・宮内崇裕・早瀬亮介

三陸海岸における古津波堆積物の認定と歴史津波との対比－岩手県山田町小谷島と宮城県南三陸町大沼におけるトレンチ調査

10. 林信太郎・樋渡蓮

鳥海山の1801年（享和元年）ブルカノ式噴火に伴う火山弾

昼休憩（12:10 - 13:10）

【ポスターセッション】会場：名古屋大学減災館減災ギャラリー

III ポスター（コアタイム：13:10 - 14:10）

11. 蟹江 由紀・蟹江 康光・布施 憲太郎

逗子町小坪の津波絵図と津波日記－逗子小坪と鎌倉材木座の大正関東地震津波

12. 安田容子・平川新

岩手県・宮城県・福島県における過去400年間の津波

13. 久永哲也・内田篤貴・浦谷裕明・小川典芳・中川進一郎・武村雅之・都築充雄

明応地震津波に関する東海地域での現地調査結果について（その3）

14. 原田智也・室谷智子・佐竹健治・古村孝志

1944年東南海地震・1946年南海地震のアンケート調査による震度分布

15. 松多信尚・木股文昭

三河地震における死亡者と活断層および地形との関係

16. 蝦名裕一

1611年慶長奥州地震津波に関する新出史料とその分析

17. 日名子健二・松崎伸一・平井義人

慶長豊後地震と豊府紀聞・豊府聞書

18. 松浦律子  
1924年丹沢地震、1888年栃木の地震など、いくつかの明治・大正の地震の再検討（その2）
19. 山本真一郎・武村雅之・都築充雄・山中佳子・宮尾浩一・小山彰  
歴史地震記録に学ぶ防災・減災ガイドについて
20. 武村雅之  
神奈川県南足柄市の関東大震災を歩く－石碑から読める農村復興過程
21. 石橋克彦  
1454（享徳三）年に奥州に大津波をもたらした地震について

**【研究発表会】 場所：名古屋大学減災館減災ホール**

**IV 東北・日本海の地震と津波（14:10－15:40）座長：小松原琢**

22. 今井健太郎・都司嘉宣  
津波痕跡高分布に基づく1833年天保出羽沖地震の波源再評価
23. 小諸拓也  
寺院被害記録から見た文政越後三条地震(1828)の震度分布
24. 水田敏彦・鏡味洋史  
1894年庄内地震の被害と地形条件
25. 鏡味洋史・水田敏彦  
1914年秋田仙北地震による秋田鉱山専門学校被害の文献調査
26. 相原淳一・駒木野智寛  
青森県深浦町椿山の津波堆積層と遺跡
27. 白石睦弥  
西津軽・男鹿間における歴史地震・津波の被害と復興

休憩（15:40 - 15:50）

**V 関西の地震（15:50－16:50）座長：大邑潤三**

28. 松岡祐也  
文禄五年（1596）地震における瀬戸内海周辺での被害状況
29. 西山昭仁  
文禄五年(1596)伏見地震における京都盆地での被害評価
30. 新谷勝行  
1925年北但馬地震の供養塔・記念碑と関連行事について

31. 鹿倉洋介・深畑幸俊・平原和朗

近畿地方周辺の内陸歴史地震と南海トラフ地震の時空間的關係

休憩 (16:50 - 17:00)

VI 関東の地震と津波 (17:00-18:15) 座長: 武村雅之

32. 村岸純・佐竹健治

1703年元禄関東地震における東京湾奥部の津波被害の再検討

33. 中村亮一

安政江戸地震の震度分布の再現性—三次元減衰構造を考慮した統計的グリーン関数による評価

34. 石辺岳男・佐竹健治・村岸純・鶴岡弘・中川茂樹・酒井慎一・平田直

1885年以降に関東及びその周辺で発生した中～大地震の類型化(その2)—近年の地震検測データとの比較による震源・発震機構解推定の試み

35. 中村操・松浦律子

1855年安政江戸地震の被害と震源について

36. 中西一郎

1854年安政, 1707年宝永地震による城の被害

【表彰式(功績賞)】 場所: 名古屋大学減災館減災ホール (18:15-18:30)

休憩・移動 (18:30 - 18:40)

【懇親会】

時 間: 18:40~20:30

会 場: 名古屋大学生協 レストラン花の木(名古屋大学構内)

会 費: 4,000円程度(学生割引有)

9月21日(日) 研究発表会・公開講演会・総会

【研究発表会】 会場: 名古屋大学減災館減災ホール

VII-i 南海トラフの地震(前半)(8:30-9:45) 座長: 松浦律子

37. 石橋克彦

1498年明応東海地震と対をなす南海地震について

38. 都司嘉宣・今井健太郎・松岡祐也・佐藤雅美・芳賀弥生・今村文彦  
種子島、および長崎での宝永地震津波(1707)の浸水高
39. 安藤正純  
史料からみる宝永地震（1707年）の際の日向国の被災状況
40. 井上公夫・中西一郎  
宝永地震（1707）による高知県東洋町名留川の大規模土砂災害
41. 北原糸子  
1707年宝永地震による東海道筋損所の大名家手伝普請修復について

休憩（9:45 - 9:55）

VII-ii 南海トラフの地震（後半）（9:55-11:10）座長：諸井孝文

42. 矢沼隆・都司嘉宣・平畑武則・松岡祐也・佐藤雅美・芳賀弥生・今村文彦  
愛知県における安政東海地震津波の痕跡調査
43. 矢内一磨  
安政の大地震と堺地域一寺院記録にみる被災
44. 鳴橋竜太郎・原田智也・佐竹健治  
安政東海地震津波（1854）による五ヶ所湾地域の被害状況
45. 山中佳子  
神社明細帳でみた南海トラフ地震
46. 三神厚・弘中拓斗・齊藤剛彦  
南海トラフを震源とする地震による各地の揺れの体験談

休憩（11:10 - 11:20）

VIII 西日本の地震と津波（11:20-11:50）座長：西山昭仁

47. 香川敬生・中村真理子・野口竜也・西田良平  
1943年鳥取地震直後のアンケートから推定される気象庁震度分布およびそれに基づく震源像
48. 松崎伸一・日名子健二・平井義人  
慶長豊後地震当時における早吸日女神社の社殿位置と津波高

昼休憩（11:50 - 13:00）

IX 台湾の地震及び地震全般（13:00－14:30）座長：林 豊

49. 塩川太郎

1935年台湾新竹－台中地震，新竹州の地震記念碑について

50. 石井寿・宇佐美龍夫

日本歴史地震総表について

51. 保立道久

ジャパネシアの神話と地震・噴火

52. 植村善博

帝都復興から丹後震災復興へ－小林善九郎の貢献

53. 樋口茂生・阿部裕寛・東将士・稲田晃・伊藤彰秀・岩本広志・上加世田聡・川崎健一・

楠恵子・佐藤伸司・品田正一・末永和幸・渡邊拓美

現代生成層－災害との関わりの小括

54. 今村隆正

歴史災害調査と写真の活用

【公開講演会】

『東海地域の地震と防災について考える－風化させない震災の記憶』

日 時：2014年9月21日（日） 15:00～17:30

会 場：名古屋大学 IB 電子情報館 2階大講義室

※「南海トラフ巨大地震」の再来が懸念されている東海地域において，今も各地に営々と受け継がれている震災の記憶を，多くの市民のみなさんに知っていただき，震災を他人ごとではなく自分のこととして考えていただくきっかけとなるように講演会を企画いたします。

プログラム：

15:00 開会挨拶 名古屋大学減災連携研究センター 福和伸夫

15:05 記念堂とともに－天野若圓以来120年－ 濃尾震災記念堂 西村道代

15:50 深溝松平家の歴史に見る震災の爪痕 愛知県幸田町教育委員会 神取龍生

16:45 歴史に学ぶ防災論：濃尾・関東・東南海

名古屋大学減災連携研究センター 武村雅之

17:30 閉会挨拶 歴史地震研究会副会長 松浦律子

休憩（17:30 - 17:40）

【歴史地震研究会総会】（17:40－18:40）会場：名古屋大学 IB 電子情報館 2階大講義室

## 9月22日(月) 見学会(巡検)

「愛知県幸田町・半田市 地域に残る昭和東南海地震・三河地震の記憶」

09:00 名古屋大学出発

10:15 幸田町本光寺着

島原藩主・深溝松平家菩提寺(家長日記・島原大変ゆかりの地, 三河地震被害痕跡)

11:15 本光寺発

11:25 深溝断層着(三河地震)

11:45 深溝断層発

12:30 一色さかな広場で昼食

13:30 一色さかな広場発

14:10 半田市雁宿公園着(昭和東南海地震慰霊碑)

14:50 半田市雁宿公園発

15:10 半田市光照院着

光照院, 酒の文化館, 小栗家住宅の見学(昭和東南海地震関係史跡)

16:10 半田市内発

17:30 JR名古屋駅着 解散

参加費: 1人5,000円程度(昼食込み; 予定)

### 3. 参加申し込み

研究発表会・懇親会・見学会の参加および20日・21日の昼食(弁当)をご希望の方は、7月31日(木)までに、電子メール・手紙・FAXのいずれかでお申込みください。申し込み先は末尾をご参照ください。

見学会の申込みにおいては保険加入のため、氏名のほか住所・生年月日・電話番号(携帯可)をお知らせください。見学会のバスは人数に限りがあるため、申込み先着順とします。

昼食は会場付近のコンビニで購入可能です。また、20日(土)には名古屋大学構内の食堂は営業します。20日・21日の弁当販売は予約販売のみと致します。各日毎に明示してお申込み下さい。

#### 《参加費, 昼食弁当代》

研究発表会(予稿集代含む): 会員1,000円, 非会員2,000円, 学生無料

懇親会: 4,000円程度(学生割引有)

見学会: 5,000円程度(バス代・昼食代・保険代)

昼食弁当代: 800円程度(20日・21日)

#### 4. 予稿集原稿の投稿および研究発表について

(作成方法を変更していますのでご注意ください)

発表 1 件につき A4 サイズ 1 ページ (厳守), カメラレディ (そのまま印刷可能な) 原稿のご用意をお願いします. 歴史地震研究会ホームページからダウンロードした標準フォーマット (Word ファイル) を書き換える形で原稿を作成のうえ, 原則として Word ファイルを電子メールで提出してください. やむを得ない場合は郵便にてお送り願います. 7 月 31 日 (木) 必着といたします. 予稿集原稿の送付先は末尾をご参照ください.

口頭発表の持ち時間は 1 件につき 15 分 (質疑応答を含む) です. また, 口頭発表では PC 接続可能な液晶プロジェクターが使用できます (PC は発表者が持参願います). ポスター発表につきましては, 幅 89 cm, 高さ 183 cm の掲示板に掲載できるポスターをご用意いただき, 9 月 20 日 (土) 12:30 までに減災ギャラリーの所定の場所に掲示してください.

#### 5. 各種申し込み先・予稿集原稿送付先・問い合わせ先

歴史地震研究会 行事委員会 : 都築充雄 (委員長)・虎谷健司・中井春香

電子メール : rekishi2014@eri.u-tokyo.ac.jp

手紙・FAX : 〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学減災連携研究センター内

第 31 回歴史地震研究会行事委員会 都築充雄

FAX : 052-789-5023 (減災連携研究センター代表)